

第 5 期（2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日）

事業報告

1. 事業運営の総括

第 5 期（2023 年 10 月～2024 年 9 月）の内外環境を振り返りますと、猛威を振るった新型コロナウイルスも 2023 年 5 月に感染症法上の位置付けが第 2 類から第 5 類に変更となり、新しい日常・本格的なポストコロナの時代へと突入しました。テレワークや E コマース、キャッシュレス決済、電子行政、遠隔教育などの新しい取り組みや生活様式がさらに浸透・定着。他方で、甚大な自然災害が頻発するなか、2050 年のカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて、気候変動対策・再エネ・省エネ等の取り組みが待ったなしの課題として再認識されております。

こうした経済・社会の変容は、わが国におけるスマートシティの取り組みにおいても、解決すべき社会課題の優先順位の変更をもたらすと同時に、全般的にはその取り組みを推進する要因となっています。

そうしたなか当法人では、オンライン中心の活動から、リアルとオンラインのハイブリッドの活動にシフトしつつ、取り組みをさらに充実させてまいりました。具体的には、スマートシティをテーマにした特別フォーラム（2024 年 7 月、ハイブリッド開催）やウェビナーの開催等を通じて、広く社会に対して、その取り組みの重要性や最新の情報の発信を続けるとともに、会員向けにはメールマガジンや会員サイトでの情報提供、さらには WEB サロンの開催等の活動を行ったほか、新たな情報・知見共有プラットフォームとして、「ナレッジシップ」のトライアルを開始しました。

また、市民の幸福度と暮らしやすさを計測する「Liveable Well-Being City 指標（LWC 指標）」の開発・普及、スマートシティ推進人材育成のための研修プログラム「City-Region MAP プログラム（C-R MAP プログラム）」の開発・提供など、協調領域における活動に精力的に取り組んでまいりました。

なかでも、デジタル田園都市国家構想における「地域幸福度（Well-Being）指標」に採用された LWC 指標に関しては、デジタル庁と緊密に連携・協働しながら、地域幸福度（Well-Being）指標サイトの整備、自治体向けワークショップの開催、指標活用ファシリテーターの養成等の活動を積極的に展開してまいりました。さらにウェルビーイングに基づく政策デザイン（Well Being-Based Policy Design（WBPD））を習得するための「WBPD OASIS プログラム」を独自に開発し、自治体や企業への提供を開始しました。

この結果、2024 年 9 月現在、「地域幸福度（Well-Being）指標」を活用する自治体は 102 団体まで拡大、今後もさらに拡大する見通しです。

また 2023 年 11 月には、世界最大のスマートシティ関連イベントである Smart City Expo World Congress に 2 年連続で日本パビリオンを出展、会員自治体・企業様にご出展いただくとともに視察研修を実施しました。

最後に、事業収支につきましては、会費収入はほぼ横ばいとなったものの、WBPD OASIS プログラムや地域幸福度（Well-Being）指標関連の業務受託の拡大で、売上高が前期比約 56 百万円の大幅増加となりました。その結果、最終利益は約 2.8 百万の黒字となりました。第 6 期は、剰余金約 20 百万円や会員特典引当金 27 百万円を有効に活用して、皆さまのお役に立つ有意義な活動を一層充実していく予定です。

1-1. 入会状況（2024年9月30日現在）※第5期末での退会を含まず

入会承認済の会員総数は758（前期末比+57）、内訳は以下の通りとなっております。

1) 正会員 A：70社（▲4）

2) 正会員 B：18社（▲4）

3) 準会員：27社（+5）

4) 賛助会員：643社（+60）

中央省庁7（±0）、地方自治体344（+39）、大学61（+13）、
その他団体231（+8）

1-2. エグゼクティブ・アドバイザーの就任状況

9月末現在で29名の有識者の皆さまにご就任いただいております。

なお、2024年9月30日付で以下5名が退任し、同10月1日付で新たに3名が就任しました。

【任期満了（2024年9月30日付）】

石山 アンジュ氏（シェアリングエコノミー協会 代表理事）

江崎 浩氏（デジタル庁 Chief Architect／東京大学大学院情報理工学系研究科 教授）

越 直美氏（三浦法律事務所 弁護士／OnBoard 代表取締役 CEO）

村林 聡氏（インターネットイニシアティブ取締役副社長）

矢野 和男氏（ハピネスプラネット 代表取締役 CEO／日立製作所フェロー）

【新任（2024年10月1日付）】

古賀 千絵氏（東京大学先端科学技術研究センター 特任助教）

竹内 純子氏（国際環境経済研究所 理事）

矢島 洋子氏（三菱UFJリサーチ&コンサルティング 執行役員）

1-3. 理事の異動

2024年3月末付けで、中農崇理事が辞任。その後任として、同年7月に村上裕史氏が理事に就任しました。9月末現在の役員一覧は下記の通りとなります。

代表理事 柳川 範之（東京大学大学院 経済学研究科 教授）

専務理事 南雲 岳彦（三菱UFJリサーチ&コンサルティング 専務執行役員）

理事 内山 清行（日本経済新聞社 常務取締役）

理事 村上 裕史（三菱UFJリサーチ&コンサルティング 代表取締役副社長）

理事（事業開発担当） 北村 達也（日本経済新聞社）

監事 上平 光一（タックスネットワーク パートナー 公認会計士 税理士）

なお、2024年10月1日付で、以下の通り役員体制を変更しました。

代表理事 南雲 岳彦（三菱UFJリサーチ&コンサルティング 専務執行役員）

専務理事 北村 達也（日本経済新聞社）

理事 内山 清行（日本経済新聞社 常務取締役）

理事 村上 裕史（三菱UFJリサーチ&コンサルティング 代表取締役副社長）

監事 上平 光一（タックスネットワーク パートナー 公認会計士 税理士）

2. 第5期事業報告

2-1. 事業活動実施状況

昨年10月以来、以下の活動を実施しました。

1) 特別フォーラム

2024年7月24日(水)日経ホールにて開催しました。

特別フォーラム「施策横連携によるデジタル田園都市国家構想の実現に向けて」

開催日時：2024年7月24日(水)10:00～18:00

開催場所：日経ホール(同時LIVE配信)

共催：日本経済新聞社

後援：内閣府、デジタル庁、総務省、経済産業省、国土交通省、環境省

当日視聴者数：1,142名(オンライン視聴981名、来場者161名)

アーカイブ動画：8月8日より日経チャンネルにて配信

URL：<https://channel.nikkei.co.jp/2407sci-japan/>

採録記事：9月11旬(日本経済新聞全国版朝刊)

2) Smart City Expo World Congress (SCEWC) 2023 日本ブース出展、海外視察研修

2023年11月7日～9日にスペインバルセロナで開催された「Smart City Expo World Congress (SCEWC) 2023」への日本ブース出展と視察研修ツアーを下記の通り、実施しました。

また、2023年12月26日/日本経済新聞朝刊(全国版)に3ページにわたって、「バルセロナ Smart City Expo World Congress 2023 特集記事」を掲載しました。

SCEWC2023 日本パビリオン出展・視察研修プログラム実施概要	
実施期間	2023年11月6日(月)～9日(木) ※現地集合・現地解散
出展団体	日本パビリオン(288㎡)、東京都ブース(120㎡)計408㎡に、25社・団体が出展 ブース訪問者数約2,000名 <主な出展団体・企業名> 東京都、内閣府地方創生事務局(つくば市、大阪府・市)、京都府、ジェトロ京都、横浜市、沖縄県名護市、茨城県境町、めぶくグラウンド、JAXA、PLATEAU、NEC、NECソリューションイノベータ、アビームコンサルティング、インターネットイニシアティブ(IIJ)、H-U Tokyo Lab.(日立東大ラボ)、Eukarya、ProPadel Japan
イベント開催	1. Well-Being City Theater セミナー計38回 2. 各国ブースとの相互訪問 3. 外部視察訪問(バルセロナ市役所、テック・バルセロナ) 4. 在バルセロナ日本総領事館共催レセプション「ジャパン・ナイト」 5. ProPadel Japan 共催レセプション「パデル・ナイト」

参加人数	総人数 192名 (うち視察研修プログラム参加者 65名)
------	----------------------------------

また、2024年11月5日～7日に開催される「Smart City Expo World Congress (SCEWC) 2024」においても、日本パビリオンの出展、並びに視察研修ツアーを実施する予定であり、現在、出展者、研修参加者を募集しております。

3) C-R MAP プログラム

これまでの活動のなかで培ってきた知見・ノウハウやネットワークを活かして、2022年10月にスマートシティ推進人材等育成のための有料研修プログラム「C-R MAP プログラム (City-Region Mutually-supportive Agile & Participatory Program)」を立ち上げました(内閣府、総務省、国土交通省後援)。

第2回プログラムは2023年8月～2023年2月に実施。受講者60名のうち、修了要件をクリアした56名(民間企業37名、自治体19名)に対して、「SCI-Japan フェロー」の資格を付与しました。なお、第1回プログラムの修了者を含めたSCI-Japan フェローの累計は、106名となりました。

第3回プログラムは、61名の受講者を対象に2024年8月に開講しました。

4) WBPD OASIS プログラム

2023年5月より、ウェルビーイングに基づく政策デザイン(Well Being-Based Policy Design (WBPD))を習得するための研修プログラムとして、「WBPD OASIS プログラム」(試行版)を立ち上げました。

このプログラムは、「C-R MAP プログラム」の上位プログラムの位置付けとして、WBPDの習得に特化したより高度、より実践的なプログラムとなっております。

2024年3月末までに、以下の12団体で実施。さらに伴走参加の形で、東京海上日動火災、TIS、インテージ、富士通の各社さまにもご受講いただきました。

会津若松市、浜松市、渋谷区(シブヤ・スマートシティ推進機構)、千葉市、鎌倉市、東広島市、前橋市、加古川市、山口県、三島市、小田原市、世田谷区(ライト版)

2024年4月からは、これまでのOASISプログラムを「OASIS Government」(行政職員向け)と位置づけるとともに、行政・企業幹部向けの「OASIS Executive」、民間企業向けの「OASIS Business」、一般市民向けの「OASIS Civic」、更にこれらの最上位のレベルに位置付けられる「OASIS Master」を立ち上げました。

2024年7月末時点のOASIS Governmentの実施実績(含む実施中)は、以下の通りとなっております。伴走参加でLIFULL様にもご受講いただいております。この結果、3月までの試行版もあわせて**修了者220名を「OASIS Practitioner」に認定**しました。

自治体：下関市、前橋市*、加古川市*、浜松市*、尾道市、姫路市、東広島市*、別府市、静岡県(*2回目)

**企業：地域創生Coデザイン研究所、アイシン、LIFULL
三菱UFJリサーチ&コンサルティング、静岡新聞社**

また、OASIS Masterについては、以下の2社で受講を開始しています。

企業：TIS、地域創生Coデザイン研究所

5) 地域幸福度 (Well-Being) 指標の普及促進活動 (分析支援業務、関連セミナー・WS) (OASIS プログラム以外)

① 分析支援業務

地域幸福度 (Well-Being) 指標の普及促進活動の一環として、同指標の積極活用を検討している以下の自治体に対して、分析支援サービスを提供しました (有料で受託)。

提供自治体：前橋市、境町、小田原市、品川区

② 関連セミナー・ワークショップ

デジタル庁の受託事業として、地域幸福度 (Well-Being) 指標活用のための 1Day セミナー (自治体職員向け講義+体験ワークショップ)、自治体主催のキャラバン・ワークショップ (特定自治体の職員・企業・市民等向けワークショップ)、NPO 等団体向けワークショップを実施したほか、自治体等からの依頼に応じて自治体等主催のワークショップを実施し、多くの方にご受講いただきました。

<1Day セミナー開催実績> (デジタル庁主催)

No.	開催日時	開催場所	参加者等	参加人数
第 1 回	2023 年 10 月 22 日	静岡県浜松市 SOU	デジ田採択団体 4 団体 デジ田採択団体外 13 団体 民間 6 団体	第 1 部：37 人 第 2 部：28 人
第 2 回	2023 年 12 月 10 日	神奈川県横浜市 NANA Lv.	デジ田採択団体 2 団体 デジ田採択団体外 8 団体 民間 3 団体 ※横浜市立大学との共催	第 1 部：54 人 第 2 部：32 人
第 3 回	2024 年 1 月 28 日	福島県会津若松市 スマートシティ AiCT	デジ田採択団体 2 団体 デジ田採択団体外 8 団体 民間 7 団体	第 1 部：27 人 第 2 部：27 人
第 4 回	2024 年 2 月 4 日	兵庫県神戸市 起業プラザ ひょうご	デジ田採択団体 3 団体 デジ田採択団体外 15 団体 民間 3 団体	第 1 部：30 人 第 2 部：28 人

<キャラバン・ワークショップ開催実績> (デジタル庁主催)

No.	開催日時	開催場所	参加者等	参加人数
第 1 回	2023 年 12 月 6 日	神奈川県 小田原市 市民交流センター UMECO	小田原市役所 小田原市観光協会 小田原箱根商工会議所 お堀端商店街振興組合 湘南ベルマーレフットサル クラブ、民間企業	約 40 名
第 2 回	2024 年 2 月 18 日	群馬県前橋市 共愛学園前橋 国際大学	前橋市役所 前橋市地域包括支援センター 表町自治会生涯学習会 社会福法人、民間企業	約 20 名

第3回	2024年2月21日	大分県別府市 立命館大学 APU グリーンコモンズ	立命館大学 APU 立命館大学、早稲田大学、 民間企業	約10名
第4回	2024年3月3日	広島県東広島市 広島大学 ミライクリエ	東広島市役所 東広島市青年会議所 広島大学 Town & Gown Office	約25名

<NPO等団体向けワークショップ開催実績> (デジタル庁主催)

No.	開催日時	開催場所	参加者等	参加人数
1	2024年9月29日	MURC 東京セミナー室	まちづくりに取り組むNPO 等団体、大学関係者他	28名

<1Dayセミナー開催実績> (デジタル庁以外)

No.	開催日時	主催者	参加者等	参加人数
1	2023年12月17日	世田谷区	自治体職員	16名
2	2024年3月15日	鎌倉市 官民研究会	自治体職員 民間企業	22名
3	2024年6月6日	草津市	草津市職員	19名
4	2024年7月12日	東京若手議員の会 西部研修	東京若手議員	16名
5	2024年8月9日	埼玉県横瀬町	横瀬町職員 中央大学/中村ゼミ生	32名

<SCI-Japan 主催ワークショップ>

No.	開催日時	主催者	参加者等	参加人数
1	2024年7月24日	SCI-Japan	全国の自治体職員 SCI-Japan フェロー	34名

6) 公開ウェビナー

2020年4月に立ち上げたウェビナーシリーズを継続的開催しています。アーカイブ動画及びプレゼン資料については、YouTubeチャンネルにて公開しており、動画の再生回数も順調に増加しております。

	第5期	開始以来の累計
開催回数	12	343
うち会員限定	0	20
事前登録者数	849	32,346
当日視聴者数	628	24,098
動画再生回数	約26千回	約249千回

YouTubeチャンネル； <https://www.youtube.com/channel/UCuv0theDkUMADjkkqtE8FQ>

7) WEB サロン

スマートシティの社会実装に向けての会員相互の交流・ネットワーキングの場として、WEB サロンを開始しました。毎回、スマートシティに関連した特定のテーマを設定し、それに関心を持つ会員（企業・自治体・団体等）が参加。座談会形式で情報共有・意見交換を行う企画です。第 5 期は、これまでに計 4 回実施し、89 名の会員の皆さまにご参加いただきました。

No	開催日	テーマ	話題提供者	参加者
25	2023.11.28	コンパクト・プラス・ネットワークによる脱炭素モデル都市構築	宇都宮市	20 名
26	2024.04.16	生活者の豊かな暮らしのためのデジタルサービス・プラットフォームの共同利用事例大公開！ ～柏の葉スマートシティ編～	UDC タウンマネジメント	18 名
27	2024.06.12	相続と防災から見た空き家データ分析 社会工学学生目線からのアプローチ	筑波大学	27 名
28	2024.09.20	“曲がる太陽電池”の実用化に向けて～ HESTA ソーラーのご紹介～	HESTA 大倉法政大学	24 名

8) リサーチ業務

以下の調査を実施し、その結果を会員専用 WEB ページに掲載しました。

① 会員自治体向け第 4 回定例アンケート調査

2023 年 10~12 月に自治体会員向けにスマートシティの推進状況と今後の課題に関するアンケート調査（第 4 回）を実施し、各地のスマートシティの現状を統計的に把握・分析しました（回答自治体：107）。

また、この結果を紹介するウェビナーを 2024 年 4 月 17 日に開催しました。

② 地域幸福度（Well-Being）指標（Liveable Well-Being City（LWC）指標）の開発と普及促進

SCI-Japan が開発した LWC 指標がデジタル田園都市国家構想推進交付金「デジタル実装タイプ TYPE2/3」で測定が義務づけられている「地域幸福度（Well-Being）指標指標」として採用されることが決定し、デジタル田園都市国家構想推進交付金「デジタル実装タイプ TYPE2/3」に採択された自治体をはじめ、多くの自治体で Well-Being アンケート調査が実施され、LWC 指標が本格的に活用されています。また、デジタル庁が主催する「デジタル田園都市 Well-Being 指標等 KPI 指標整備に関する検討会議」のメンバーとして、代表理事の南雲をはじめ多数のエグゼクティブ・アドバイザーが参画しております。

2024 年 3 月 29 日には、デジタル庁「地域幸福度（Well-Being）指標サイト」が公開され、同サイトで全国約 100 千名を対象としたアンケート調査の調査結果や最新の客観指標データのダッシュボードや自治体別データを閲覧したり、個別調査のアンケートデータをアップロードしたりすることができるようになりました。

<https://well-being.digital.go.jp/>

【検討会構成員（2024年9月末現在）】

- は SCI-Japan 役員、エグゼクティブ・アドバイザー
- 前野 隆司氏（座長）、●南雲 岳彦（副査）、●石川 善樹氏、●内田 由紀子氏、
- 太田 直樹氏、●小泉 秀樹氏、笹尾 知世氏、●白坂 成功氏、鈴木 寛氏、関 治之氏、
- 広井 良典氏、井上 亮太郎氏、古賀 千絵氏

9) 有識者コラム

以下の通り、計 20 本のコラムを会員専用 WEB ページに掲載しました（第 1 期からの累計で 112 本）。

- 2023/11/02 欧州 3 都市をめぐる感じた、歴史の香りをまとう循環経済の多様性**
(前編：ロンドン)
加藤 佑氏/ハーチ株式会社 代表取締役
- 2023/11/14 スマートなグリーンインフラの本格的な実装へ#1**
：DX によるグリーンインフラの社会実装へ
西田 貴明氏/京都産業大学生命科学部 准教授
- 2023/11/24 欧州 3 都市をめぐる感じた、歴史の香りをまとう循環経済の多様性**
(後編：パリ・アムステルダム)
加藤 佑氏/ハーチ株式会社 代表取締役
- 2023/11/27 人口減少時代の地域経営とスマートシティ**
長谷川 専氏/株式会社三菱総合研究所
- 2023/12/20 スマートなグリーンインフラの本格的な実装へ#2**
：自然環境データを活用したグリーンインフラの社会実装
西田 貴明/京都産業大学生命科学部 准教授
- 2023/12/25 パブリック・ウェルビーイングを軸とする日本らしい循環経済を考える**
加藤 佑/ハーチ株式会社 代表取締役
- 2024/01/25 スマートなグリーンインフラの本格的な実装へ #3**
：デジタル技術を活用したグリーンインフラの導入
西田 貴明氏/京都産業大学生命科学部 准教授
- 2024/03/06 「人口減少時代の地域経営」に資する地域経済活性化施策の展開に向けて**
～自治体商品券事業の高度化、その先にある地域通貨を例に～
小瀬木 祐二氏/株式会社三菱総合研究所
- 2024/03/22 次世代型路面電車（LRT）による地域公共交通再構築と街づくりの連携**
—芳賀・宇都宮 LRT の事例より—
北村 達也氏/スマートシティ・インスティテュート理事（事業開発担当）
- 2024/04/10 新しい通信技術「Beyond 5G」が実現する未来生活**
石津 健太郎/国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）

- 2024/05/20 **キレイな空気を守っていくために：空気品質の見える化**
佐藤 知紘/国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
- 2024/05/22 **広域データ連携基盤による持続可能なスマートシティの実現**
崎 恵典/株式会社三菱総合研究所
- 2024/06/24 **スマートシティのマネタイズ**
奥野 和弘/PwC コンサルティング合同会社
- 2024/07/10 **災害に強いネットワークとは**
島野 繁弘/国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
- 2024/08/05 **「都市のデジタルツイン」の可能性**
奥小津 宏貴/株式会社三菱総合研究所
- 2024/08/05 **建築分野のサステナビリティ向上 #1：エンボディドカーボンの削減に向けた建築材料の再利用**
溝口 卓弥 /野村総合研究所
- 2024/08/07 **「多様な主体による共創の実現に向けて —地域ビジネスの実態調査より—**
井村 慎/PwC コンサルティング合同会社
- 2024/08/28 **デジタルツインを活用したスマートシティ**
是津 耕司/国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
- 2024/09/09 **スマートシティのマネタイズ**
平本 督太郎/金沢工業大学 SDGs 推進センター所長
- 2024/09/26 **建築分野のサステナビリティ向上 #2：建築分野でのマテリアルパスポート活用の可能性**
青木 笙悟 /野村総合研究所

10) 会員向けメールマガジン

計 38 本（第 1 期からの累計で 118 本）のメールマガジンを会員向けに定期配信しました（メルマガ配信登録者数は、**9 月末現在で 1,599 名**）。2023 年 6 月より新メルマガ配信システムからの配信を開始しています（月 3 回配信）。

11) オープンスクエア・会員マッチング

会員からの依頼に基づき、会員主催のイベント情報・公募情報・レポート等を会員専用サイトのオープンスクエアに掲載するほか、SCI-Japan の各種 SNS で広く発信しております。第 5 期の実績は下記のとおりとなります。

- ✓ イベント・公募情報 **127 件**（累計 **425 件**）
- ✓ 書籍・レポート **4 件**（累計 **12 件**）

上記のほか、会員からの依頼に基づき、会員相互の意見交換・ヒアリング等を目的としたマッチングを実施しております。第 5 期の実績は下記のとおりとなります。なお、今後は新たに導入しました「ナレッジシップ」サービス上で会員相互のマッチングを推進する予定です。

- ✓ マッチング依頼件数 3 件（累計 47 件）
- ✓ 面談成立件数 2 件（累計 30 件）

12) ナレッジシップサービス

会員限定の情報・知見共有プラットフォームとして、「ナレッジシップ」WEB サービスを 2024 年 4 月にトライアル開始しました。

全国の自治体情報や補助金情報、企業のソリューション、レポートなどを集約して掲載し、スマートシティ・まちづくりの施策を推進するうえで必要なナレッジを共有することに加えて、「投稿機能」、「マッチング・相談機能」を活用していただくことで、会員相互（特に民間企業と自治体）のネットワーキングやマッチング支援強化をめざします。

13) 正会員交流会

2024 年 5 月 29 日、日経カンファレンスルームにて正会員を対象とした交流会を開催しました。当日は、南雲代表理事による地域幸福度指標の最新動向に関する講演、トークセッションを実施した後、SCI-Japan の活動状況や今後の予定についてご紹介させていただきました。その後、立食の懇親会にて会員相互の交流を深めました。

- ✓ 参加者：42 社／84 名（入会予定先 3 社を含む）

14) イベントの共催・後援等（除く海外パートナーとの協働）

以下のイベント等に共催・後援・企画協力を行いました。

依頼者	会員種別	協働形態	イベント名	開催年月
オープンガバメント・コンソーシアム	賛助	後援	OGC シンポジウム 2023	2023/11/27
Code for Japan	賛助	協賛	Code for Japan Summit 2023	2023/11/25
金沢工業大学	賛助	後援	第 1 回 Well-being & Sustainable City アイデアコンテスト	2023/9～11
一般社団法人データワークサポート	賛助	後援	RDA シンポジウム 2024	2024/2/28
日本経済新聞社	正会員 A	協力	ウクライナ経済復興ビジネスセミナー～日本・ウクライナ連携ビジョン～	2024/2/8
東広島市	賛助	後援	地域幸福度（Well-Being）指標を活用したワークショップ	2024/3/3
小田原市	賛助	後援	おだわらデジコン城下町（全国学生デジタルまちづくりコンテスト 2024 in Odawara）	2024/5～10
金沢工業大学・LODU	賛助	協力	カードゲーム体験会	2024/9/18
一般社団法人コード・フォー・ジャパン	賛助	協力	Next Smart City 2024	2024/9/30

15) 海外パートナーとの協働

海外パートナーとの協働で以下の活動を実施しました。

① TNO 主催イベント@オランダ大使館

オランダ議会により設立された応用科学研究機構主催イベントに於いて、南雲代表理事が日本のスマートシティについて登壇しました（2023 年 10 月 3 日）。

② **Smart City Expo World Congress 2023**

バルセロナの Smart City Expo World Congress に於いて、南雲代表理事が計 19 本の登壇、5 本の会議に出席しました（2023 年 11 月 7 日～9 日）。

③ **UN-Habitat Quality Assurance Panel Meeting**

2023 年 11 月、南雲専務理事は UN-Habitat の Quality Assurance Board メンバーに選出され、同年 12 月 11 日以降、2024 年には 4 回（2 月 27 日、6 月 25 日、7 月 25 日、9 月 26 日）の国際会議にオンライン出席しました。

④ **UN-Habitat's Expert Group Meeting**

国連人間居住計画（UN-Habitat）から、ウェルビーイング指標についての講演依頼があり、ニューヨークで開催された専門家グループ会合（EGM）に招待されました（2024 年 4 月 24 日～26 日）。

⑤ **Smart City Program with KACST**

ウフル社主催、サウジアラビア王国研究開発機関であるアブドゥルアズィーズ国王科学技術都市（KAST）とのイベントに於いて、南雲代表理事が日本のスマートシティについて登壇しました（2024 年 3 月 1 日）。

⑥ **オランダ大使館主催 パネルディスカッション**

南雲代表理事が団長として参加したオランダ視察（2023 年 6 月）を踏まえ、日本とオランダの資源循環に対する考え、ウェルビーイング、産官学の取り組みなどについてのディスカッションに登壇しました（2024 年 3 月 6 日）。

⑦ **Asia Society Policy Institute Program in Tokyo**

アジアソサイエティ研究所主催、北京の Schwarzman Scholars Program の卒業生達に向けて、南雲代表理事がスマートシティ開発と社会問題に対する都市の解決策について登壇しました（2024 年 3 月 12 日）。

⑧ **Smart City Summit & Expo @台湾**

2023 年に MOU を締結した Taiwan Computer Association と台北市、高雄市が主催、アジア最大のスマートシティエキスポの招待を受け、南雲代表理事が日本のスマートシティについて講演登壇。また同じく MOU 締結 Institute for Information Industry (III) とワークショップを実施。2 本の会議に出席しました（2024 年 3 月 20 日～22 日）。

⑨ **TNO Smart City Roundtable**

2023 年 10 月に続き、オランダ議会により設立された応用科学研究機構主催イベントに於いて、南雲代表理事が持続可能なウェルビーイングについて登壇。また MOU の署名式を行いました（2024 年 5 月 21 日）。

16) **大学・大学院での次世代人材育成**

大学・大学院での次世代人材育成の活動として、南雲代表理事が大学での講義を実施しています。

期 間	内 容
2023/9～2024/1	専修大学経営学部／「サステナブル都市論」講義
2024/4	中央大学国際経営学部／「スマートシティ研究」講義
2024/6	法政大学大学院／「地域活性化システム論」講義

2024/7～2024/8	横浜市立大学都市社会文化研究科／講義
2024/4～2024/8	専修大学経営学部／「スマートシティ論」講義
2024/9	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）／集中講義

17) デジタル化横展開推進協議会への参画

2024年7月に、地域課題を官民で効果的に解決するデジタル化の横展開を推進することを目的に、「デジタル化横展開推進協議会」が設立されました。SCI-Japanは、発起人団体の1つとして本協議会に参画（柳川名誉顧問が共同代表理事に、南雲代表理事が運営委員に就任）しています。

また、今後の具体的な活動として、SCI-Japanの主導で「Well-Being 指標推進・展開コミュニティ」を立ち上げ、8つのテーマで地域幸福度（Well-Being）指標の積極的活用などを通じた市民からデジタル化への積極的参画を促す方策の検討及びそれを支えるコミュニティの形成支援のための活動を展開する予定です（2024年10月22日現在、208名が同コミュニティに参加）

2-2. 対外情報発信

1) 公式ホームページ（2023年10月~2024年9月） PV数：約215千PV

2) SNSによる発信（2024年9月30日現在）

- ① Facebook（日本語・英語）：フォロワー2,925名
- ② X（旧Twitter）（日本語・英語）：フォロワー1,671名
- ③ LinkedIn（日本語・英語）：フォロワー1,004名
- ④ YouTube：登録者3,760名、掲載動画 326本、視聴回数約245千回
- ⑤ Peatix：フォロワー4,282名

3) 広告企画掲載

- ① 2023年12月26日 日本経済新聞朝刊（全国版）3ページ
「バルセロナ Smart City Expo World Congress 2023 特集記事」
※広告欄（7段）にSCI-Japanとしての広告を掲載
- ② 日本経済新聞電子版 2024年2月15日~2024年3月31日
「バルセロナ Smart City Expo World Congress 2023 特集記事」
- ③ 2024年6月20日 日本経済新聞朝刊（全国版）2ページ
「SCI-Japan 特別フォーラム 告知特集記事」
※広告欄（7段）にSCI-Japan 正会員各社のロゴを掲載
- ④ 2024年6月~7月 日本経済新聞朝刊（全国版）
複数回にわたり、SCI-Japan 特別フォーラムの告知を行いました
- ⑤ 2024年9月11日 日本経済新聞朝刊（全国版）3ページ
SCI-Japan 特別フォーラム採録記事と広告欄において研修プログラムを紹介
- ⑥ 2024年9月12日 日経 Financial Times（全域+ePaper） 1/4スペース
感染症会議特集欄の1/4スペースにSCI-Japanの英文広告を掲載

4) 南雲代表理事によるスマートシティ関連の対外活動

※ご要望があれば、南雲代表理事による社内勉強会の講師等の活動もアレンジします（会員様優先対応）。

①アドバイザー等への就任（2024年9月30日現在）

【国】

- ✓ デジタル庁：デジタル田園都市国家構想実現に向けた地域幸福度（Well-Being）指標の活用促進に関する検討会 委員（副査）
- ✓ デジタル庁：デジタル化横展開推進協議会 運営委員
- ✓ 内閣府：公文書管理委員会 委員
- ✓ 内閣府：戦略イノベーション創出プログラム第3期包摂的まち・くらしづくりラウンドテーブル 委員
- ✓ 経済産業省：IPA デジタルアーキテクチャ・デザインセンター アドバイザリーボードメンバー
- ✓ 総務省：「スマートシティにおいて各主体が分散して保有するパーソナルデータ

の安全・安心な流通に資する情報信託機能の在り方に関する調査研究」有識者会議 構成員

【自治体】

- ✓ 東京都：東京都官民連携データプラットフォーム協議会 委員
- ✓ 浜松市：フェロー／浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム運営委員会 副委員長
- ✓ 前橋市：政策アドバイザー
- ✓ 横浜市：DX アドバイザー
- ✓ 横浜市：地方創生推進連絡会 委員
- ✓ 横浜市：アジア・スマートシティ会議 企画委員
- ✓ 東広島市：スマートシティ政策アドバイザー
- ✓ 鎌倉市：スマートシティ推進参与
- ✓ 加古川市：LWC 政策アドバイザー
- ✓ 千葉市：千葉市新基本計画審議会スマートシティ部会 委員
- ✓ 札幌市：Well-Being 指標アドバイザー
- ✓ 会津若松市：スマートシティ会津若松 アドバイザー
- ✓ 下関市：スマートシティ推進協議会 アドバイザー
- ✓ 茨城県境町：参与
- ✓ 渋谷区：一般社団法人シブヤ・スマートシティ推進機構 理事
- ✓ 三島市：スマートシティ推進フェロー
- ✓ 岐阜市：総合戦略アドバイザー
- ✓ 山口県：デジタル実装推進アドバイザー
- ✓ 兵庫県：スマートシティモデル事業アドバイザー
- ✓ 小田原市：エグゼクティブデジタルアドバイザー
- ✓ 尾道市：ウェルビーイング政策アドバイザー
- ✓ 野々市市：SDGs アドバイザリーボード 委員
- ✓ 草津市：草津市健幸政策アドバイザー
- ✓ 静岡県：フェロー
- ✓ 静岡県：静岡県総合計画審議会 委員

【民間】

- ✓ 慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 特別招聘教授
- ✓ 京都大学経営管理大学院 客員教授
- ✓ 横浜市立大学 特任教授
- ✓ 専修大学経営学部 客員教授
- ✓ 立命館大学 客員教授
- ✓ 立命館アジア太平洋大学 客員教授
- ✓ 金沢工業大学 客員教授
- ✓ 東海大学 客員教授
- ✓ 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員
- ✓ 国際大学 GLOCOM 上席客員研究員
- ✓ 一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム フェロー
- ✓ 一般社団法人 AiCT コンソーシアム 顧問

- ✓ 一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム アドバイザー
- ✓ 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 理事
- ✓ 一般社団法人 Govtech 協会 アドバイザー
- ✓ 一般社団法人全国地域ビジネス協会 自動運転“地域モビリティ”コンソーシアム運営委員会 アドバイザリーボード
- ✓ 一般社団法人スポーツウェルビーイング推進協議会 アドバイザー
- ✓ 全国 Town & Gown 構想推進協議会 アドバイザー
- ✓ プロトタイプ政策研究所 メンバー
- ✓ Hokkaido F Village X リソースパートナー
- ✓ 一般社団法人 Culture Plus アドバイザー

【海外】

- ✓ UN-Habitat（国際連合人間居住計画）：Quality Assurance Panel Member, UN-Habitat Global Quality of Life Initiative
- ✓ フィンランド財務省：オーロラ AI プロジェクト・グローバルネットワーク (gHAIR: Global Human-Centric AI Transformation Research Network) 創設メンバー
- ✓ ロイヤルメルボルン工科大学 シニア・フェロー
- ✓ Open & Agile Smart Cities (OASC) 日本チャプター代表

② 鎌倉 FM レギュラー出演(2023年4月1日～2024年6月30日)

番組概要 ・ タイトル：KAMAKURA GOODMORNING STATION

・ 放送時間：毎週土曜 午前 8 時～午後 12 時

・ 出演時間：毎週土曜 午前 11 時～正午

ゲスト出演者（SCI-Japan 関係者のみ）

関 治之氏（Code for Japan（賛助会員））

島田 由香氏（日本ウェルビーイング推進協議会（賛助会員））

村上 敬亮氏（デジタル庁（賛助会員））

鈴木 みゆき氏（デジタル庁（賛助会員））

谷内田 修氏（デジタル庁（賛助会員））

多田 功氏（TIS（正会員））

田畑 夏子氏（インテージ（正会員））

岩名 礼介氏（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング（正会員））

日下 光氏（xID（正会員））

加藤 佑氏（ハーチ（MoU 締結先））

辻 早紀氏（One Smile Foundation（準会員））

桂 有生氏（横浜市（賛助会員））

宮崎 智之氏（横浜市立大学（賛助会員））

黒木 淳氏（横浜市立大学（賛助会員））

川内 美月氏（横浜市立大学（賛助会員））

野中 朋美氏（早稲田大学（賛助会員））

白坂 成功氏（慶應義塾大学（エグゼクティブ・アドバイザー））

神尾 りさ氏（世田谷区議会議員）

③ イベント等への登壇（2023年10月～2024年9月） 主催イベント・OASIS等を含む

実施日	内容	会員種別
23年10月2日	前橋市 市長等幹部クラス+部長向け:勉強会	賛助
3日	TNO 主催イベント	賛助
4日	鎌倉市スマートシティ官民研究会会員向けワークショップ	賛助
10日	浜松市 OASIS 第6回	賛助
11日	シブヤ・スマートシティ推進機構 OASIS 第5回	賛助
11日	浜松市 Well-Being Award	賛助
14日	慶應 SFC 田中教授 鎌倉市ウェビナー登壇	賛助
18日	加古川市 OASIS 第1回	賛助
19日	東広島市 OASIS 第4回	賛助
21日	神奈川新聞様主催フォーラム モデレーター	
22日	デジタル庁 1Day セミナー 浜松	賛助
23日	浜松市 OASIS 発表会	賛助
23日	浜松市 オンラインフォーラム	賛助
24日	千葉市 OASIS 第3回	賛助
28, 29日	東広島&広島大学全国 Town & Gown 構想推進協議会設立総会とフォーラム	賛助
30日	加古川市 OASIS 第2回	賛助
30日	取材 広報かがわ1月号	賛助
31日	SmartCity Forum Hyogo 2023	賛助
11月1日	前橋市 OASIS 第1回、第2回	賛助
2日	三島スマートシティ推進協議会総会	賛助
3日	おだわら全国大学生デジタルまちづくりコンテスト 2023	賛助
7日～9日	Smart City Expo World Congress 2023	賛助
15日	アジア・スマートシティ会議(登壇 11/15)	賛助
16日	東広島市 OASIS 第5回	賛助
20日	加古川市 OASIS 第3回	賛助
21日	千葉市 OASIS 第4回	賛助
22日	シブヤ・スマートシティ推進機構 OASIS 第6回	賛助
22日	NTT データ主催 BeSTA お客様の会	正会員
24日	078KOBE (神戸大学)	賛助
28日	大丸有まちづくり協議会 35周年記念『クリエイティブシティ～ポストシリコンバレーの行方～』	賛助
28日	黒部市福祉協議会 第二回 LWC 指標を活用した市民参加型の地域福祉活動計画 策定に向けての研修会並びにワークショップ開催	賛助
30日	鎌倉市 OASIS 第5回	賛助
12月4日	小田原市 第2回行政 DXWG 及び市民満足度向上 WG	賛助
5日	前橋市 OASIS 第3回	賛助
6日	キャラバン WS 小田原市	賛助

7日	湘南 iPARK サイエンスカフェ	
10日	デジタル庁 1 Day セミナー 横浜市・横浜市大	賛助
13日	デジタル庁有識者検討会 (第4回)	賛助
13日	山口県 OASIS 第3回	賛助
17日	世田谷区 OASIS ライト研修	賛助
18日	加古川市 OASIS 第4回	賛助
19日	MIT ベンチャーフォーラム月例セミナー	
20日	浜松市 第3回官民連携 PF 運営委員会	賛助
21日	千葉市 OASIS 第5回	賛助
25日	三島市・小田原市合同 OASIS 第1回	賛助
26日	浜松市 第3回ウェビナー	賛助
26日	山口県 OASIS 第4回目	賛助
27日	東広島市 OASIS 第6回	賛助
28日	取材 NHK 大津放送局	
24年1月5日	デッカイギ(行政デジタル改革共創会議)	賛助
10日	沖縄経済同友会「情報通信委員会」	賛助
15日	鎌倉市 OASIS 第6回	賛助
16日	東京ビジネス外語カレッジ	賛助
17日	加古川市 OASIS 第5回	賛助
18日	Japan IT Week 関西セミナー	
18日	前橋市 OASIS 第4回	賛助
22日	三島市・小田原市合同 OASIS 第2回	賛助
23日	山口県 OASIS 第5回	賛助
24日	千葉市 OASIS 第6回	賛助
25日	事業構想大学院大学 地域創生 Co デザインカレッジ	賛助
26日	鎌倉市スマートシティ官民研究会会員向けワークショップ	賛助
28日	デジタル庁 1 Day セミナー 会津若松市	賛助
30日	国際大学 GLOCOM 六本木シンポジウム	賛助
2月1日	総務省実証第3回有識者会議	賛助
2日	日本ガス協会主催 地域活性化フォーラム	賛助
4日	デジタル庁 1 Day セミナー 兵庫県	賛助
5日	加古川市 OASIS 第6回	賛助
6日	三島市 OASIS 第3回	賛助
7日	第4回ひょうごスマートシティ推進検討会	賛助
7日	SMARTCITY×TOKYO -2024 SPRING MEETING-	賛助
14日	前橋市 OASIS 5回目	賛助
15日	蒲郡市視察・ウェルビーイング指標活用講演	賛助
16日	川崎市 職員向け講演会	賛助
18日	キャラバンWS 前橋市	賛助
19日	三島市 OASIS 第4回	賛助
20日	山口県 OASIS 第6回	賛助

21、22日	立命館アジア太平洋大学 キャラバン WS	
26日	財務省 Well-being 指標の設計や自治体活用事例について	
3月1日	Smart City Program with KACST	正会員
3日	キャラバンWS 東広島市	賛助
4日	総務省「情報信託機能を活用したスマートシティにおけるデータ利活用に係る調査」	賛助
4日	大丸有エリア評価 第2回 WS	賛助
5日	寄稿「SDGs 白書 2023-2024」	
3月5日	前橋市 OASIS 第6回	賛助
6日	取材 株式会社 SIGNING	
6日	オランダ大使館/TBC パネル・ディスカッション	賛助
12日	Asia Society Policy Institute program in Tokyo	賛助
12日	鎌倉市 OASIS 発表会	賛助
13日	三島市 OASIS 第5回	賛助
14日	産総研「包摂的なまちづくり・人づくりシンポジウム」	賛助
15日	鎌倉市スマートシティ官民研究会会員向けワークショップ 第3回	賛助
18日	デジタル化横展開推進協議会 協議会発足イベント	賛助
20~22日	Smart City Summit & Expo @台湾 2024	
21日	Meeting with III colleagues to discuss future collaboration	
25日	デジタル庁 第5回 Well-Being 有識者検討会	賛助
26日	境町 x東京海上 WS	賛助
27日	小田原市 OASIS 第3回	賛助
28日	浜松市 第4回官民連携プラットフォーム運営委員会	賛助
4月2日	小田原市 第3回行政 DXWG 及び市民満足度向上 WG	賛助
3日	地域創生 Co デザイン研究所 OASIS 1回目、2回目	正会員
5日	会津若松市第25回アーキテクト会議	賛助
9日	中央大学講義（国松ゼミ）	賛助
10日	地域創生 Co デザイン研究所 OASIS 3回目	正会員
13~14日	西会津町 WB 指標実装合宿	賛助
15日	小田原市 OASIS 4回目	賛助
17日	前橋市 OASIS 市長向け発表会	賛助
18日	三島市 OASIS 6回目	賛助
19日	地域創生 Co デザイン研究所 OASIS 4回目	賛助
25~26日	UN-Habitat's Expert Group Meeting	
5月2日	尾道市 OASIS キックオフ(エグゼクティブ)	賛助
7日	地域創生 Co デザイン研究所 OASIS 5回目	賛助
8日	浜松ソーシャルインパクトファイナンス勉強会(庁内向け)	賛助
8日	キンドリルジャパン株式会社	
9日	前橋市 OASIS 1回目	賛助
13日	地域創生 Co デザイン研究所 OASIS 6回目	賛助
14日	浜松ソーシャルインパクトファイナンス勉強会	賛助

14日	昭和設計社員向け講演	
15日	加古川 OASIS1 回目	賛助
15日	デジタル化横展開推進協議会 第1回運営委員会	
15日	SusHi Tech Tokyo スマートシティ・レセプションパーティ	賛助
16日	自治体総合フェア	
17日	Sushi Tech Tokyo 2024 アフターイベント	
20日	小田原市 OASIS 5 回目	賛助
21日	TNO Smart City Roundtable	賛助
23日	前橋市 OASIS(本) 2 回目	賛助
27日	尾道市 OASIS1 回目	賛助
27日	デジタル庁自治体向け説明会	賛助
29日	サステナビリティレポート懇談会	
29日	正会員向け説明会	
6月3日	浜松市 OASIS 1 回目	賛助
4日	黒部市福祉協議会ワークショップ	賛助
5日	デジタル化横展開推進協議会 第2回運営委員会	
6日	草津市 1Day 講演&ワークショップ	賛助
8日	東京オープンデータデー	賛助
12日	浜松市第1回デジスマ官民連携 PF 運営委員会	賛助
13日	RMC 正会員向けセミナー 講演	
15日	ファシリテーションサミット富山 2024 基調講演	
18日	法政大学大学院 2 コマ	賛助
19日	加古川 OASIS2 回目	賛助
20日	東広島市 OASIS 1 回目	賛助
20日	広島大学スマートソサイエティ実践科学研究所設立記念シンポジウム基調講演	賛助
24日	前橋市 OASIS 3 回目	賛助
24日	デジタル化横展開推進協議会 第3回運営委員会	
24日	デジタル庁有識者会議	賛助
25日	デジタル庁オンラインワークショップ基礎編 1 回目	賛助
25日	取材 財訊雙週刊	
25日	法政大学大学院	賛助
25日	QoL Quality Assurance Panel meeting	
26日	姫路市市長面談	賛助
27日	下関市 OASIS 1 回目	賛助
27日	マルチメディア推進フォーラム・セミナー	
7月1日	MURC OASIS 合同①②	正会員
4日	SCSC 関西 2024	
8日	PwC 依頼、Hazem 氏来日映像収録	正会員
8日	小田原市 OASIS 6 回目	賛助
9日	尾道市 OASIS 2 回目	賛助
10日	加古川 OASIS 3 回目	賛助

10日	MURC OASIS 大阪③④	正会員
11日	アイシン OASIS2 回目	
11日	浜松市 OASIS 2 回目	賛助
12日	東京若手議員の会西部研修	
13日	横浜市立大学集中講義	賛助
16日	別府市 OASIS 1 回目	賛助
16日	中央大学(SCI-Japan ウェビナー)	賛助
17日	MURC OASIS 名古屋③④	正会員
18日	姫路市 OASIS 1 回目	賛助
20日	デジ庁ファシリティ養成講座 東京	賛助
20日	横浜市立大学集中講義	賛助
21日	デジ庁ファシリティ養成講座 東京	賛助
22日	デジタル庁案件オンラインワークショップ指標分析編	賛助
22日	MURCOASIS 東京③④	賛助
23日	前橋市 OASIS 4 回目	賛助
24日	SCI-Japan 特別フォーラム	賛助
25日	UN-Habitat Scale-up Quality of Life in Japan	
27日	横浜市立大学集中講義	賛助
28日	市原市講演&市長対談	賛助
29日	浜松市 OASIS 3 回目	賛助
30日	機関誌「環境情報科学」53巻3号 (Well-being 特集)	
30日	下関市 OASIS 2 回目	賛助
30日	渋谷【SSCA】PJT 支援費審査会	賛助
31日	尾道市 OASIS3 回目	賛助
31日	東広島市 OASIS 2 回目	賛助
8月1日	姫路市 OASIS 2 回目	賛助
3日	デジ庁ファシリティ養成講座 大阪	賛助
3日	横浜市立大学 集中講義	賛助
4日	デジ庁ファシリティ養成講座 大阪	賛助
5日	取材 時事通信 iJAMP	
5日	横浜市中期計画中間期振り返りヒアリング	賛助
5日	地域 Co OASIS マスター	正会員
6日	加古川 OASIS 4 回目	賛助
7日	アイシン OASIS 3 回	
8日	都市ースmartシティトウキョウ 2030	賛助
9日	横瀬町 1day	賛助
20日	令和6年度千葉市基本計画審議会スマートシティ部会	賛助
20日	前橋市 OASIS 5 回目	賛助
20日	取材 静岡新聞社	
21日	姫路市 OASIS 3 回目	賛助
22日	下関市 OASIS 3 回目	賛助

23日	別府市 OASIS 2 回目	賛助
26日	浜松市 OASIS 4 回目	賛助
27日	東広島市 OASIS 3 回目	賛助
28日	MURC OASIS 合同⑤	正会員
29日	C-RMAP 講義①	
9月2日-6日	慶應 SFC 集中講義	賛助
7日	慶應 SFC/鎌倉 FM 交流会	賛助
10日	アイシン OASIS4 回目	
10日	C-RMAP 講義②	
11日	加古川 OASIS 5 回目	賛助
12日	別府市 OASIS 3 回目	賛助
12日	C-RMAP 講義③	
12日	会津の暮らし研究室 ABC 放送向け WB 指標インタビュー	
13日-14日	静岡県 OASIS	賛助
17日	尾道市 OASIS 4 回目	賛助
18日	MURC OASIS 発表会	正会員
18日	YouTube 撮影 世田谷区x相川七瀬様	賛助
20日	静岡県 OASIS	賛助
25日	別府市 OASIS 4 回目	賛助
26日	おだわらデジコン 2024 フォローアップ	賛助
26日	産総研 人工知能技術コンソーシアム主催シンポジウム	
26日	UN-Habitat Quality Assurance Panel 4th Meeting	
29日	デジ庁ワークショップ東京 NPO 等団体向け	賛助

2-3. 外部団体との提携等

1) 関連組織との MOU 締結

提携先	概要
Greater London Authority	英国のグレーター・ロンドンにおいて最上位に位置する地方自治体
Connected Places Catapult	英国のオープンイノベーションを推進する非営利団体
Royal Danish Embassy in Japan	駐日デンマーク王国大使館
Spain Embassy in Japan	駐日スペイン大使館経済商務部
Fira de Barcelona	バルセロナの世界最大級スマートシティイベント Smart City Expo World Congress を主催
WeGo (World Smart Sustainable Cities Organization)	ソウルに事務局を置く、アジアを中心にスマートシティを推進する非営利国際団体。WeGO の会員数は 200 を超え、中国、ロシア、トルコ、メキシコに海外事務所を設置
Eden Strategy Institute	シンガポールの研究機関。独自のスマートシティ・ガバメントランキングを公表
SmartCT	フィリピンに事務局を置く、アジアのスマートシティを推進する団体
MyData Global	パーソナルデータに関する個人中心のアプローチを推進するグローバルな非営利団体
FIWARE Foundation	FIWARE の普及を民間主導で推進するグローバルな非営利団体

Open & Agile Smart Cities	世界中の都市間のデジタル推進を支援するベルギーの非営利団体
Smart City Association (SCA)	韓国におけるスマートシティを推進する政府系団体
慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 白坂研究室	宇宙開発から社会システムまで、人が経験的・感覚的におこなっていることを体系化する研究を幅広い分野で実施
日本版 Well-Being イニシアチブ	日本経済新聞社、公益財団法人 Well-being for Planet Earth、参画企業により創設。Well-being を測定する新指標開発やウェルビーイング経営の推進等に取り組んでいる
株式会社日経 BP	日本経済新聞グループの出版社で、日経ビジネスをはじめとする「日経 XX」の雑誌を出版。日経 BP 総研の名で「シティブランド・ランキング」ほか独自の調査も実施
東京海上日動火災保険株式会社	Liveable Well-Being City 指標における自治体の災害脆弱性診断ロジックの形成に向けて協働中
株式会社カヤック	関係人口づくりと移住のためのマッチングサービス『SMOUT』を全国で展開しており、Liveable Well-Being City 指標の開発・展開において協働中
一般社団法人コード・フォー・ジャパン	市民主体で課題解決を行うコミュニティづくりの支援等に取り組んでいる Civic Tech の団体
公益財団法人九州先端科学技術研究所	「ビッグデータ&オープンデータ研究会 in 九州」(BODIK (BigData & OpenData Initiative in Kyushu)) を設立し、オープンデータの活用に注力中
一般社団法人循環経済協会	限りある天然資源を有効活用しながら、資源効率性の高い持続的に発展可能な経済社会(循環経済社会)の実現を目指して各種事業を展開
一般社団法人官民共創 HUB	「官民共創」による社会課題の解決や新規事業の創出を目指して、それをサポートするための場(コミュニティ、イベントスペース、イベントなど)を提供
Scrum Ventures LLC	サンフランシスコと東京を拠点とするベンチャーキャピタル。『SmartCity X』を実施
ハーチ株式会社	ソーシャルグッド、シェアリングエコノミー、教育など幅広い分野でウェブメディアを企画・運営
横浜市立大学	横浜市と連携しながら、データサイエンス分野にて COI-NEXT の共同研究等に取り組んでいる
Institute for Information Industry	イベントにおける協力、日台のスマートシティに関する意見交換等を行う
TAIPEI COMPUTER ASSOCIATION	イベントにおける協力、日台のスマートシティに関する意見交換等を行う
RMIT University	イベントにおける協力、日豪のスマートシティに関する意見交換を行う。
Smart City Innovation Cluster	関連項目の開発とコミュニケーション分野での協力
TNO (オランダ応用科学研究機構)	TNO がもつデジタルツインのツールが Well-being 指標の評価に寄与することを検討する。
株式会社地域創生 Co 研究所	OASIS ガバメントの実施に関する業務提携
TIS 株式会社	OASIS ガバメントの実施に関する業務提携

2) 関連団体等への入会 (原則、会費無料)

入会団体	会員種別
グローバル・スマートシティ・アライアンス (GSCA)	パートナー
Open & Agile Smart Cities (OASC)	会員
日 ASEAN スマートシティ・ネットワーク官民協議会 (JASCA)	会員

FIWARE Foundation	Associate member
スマートシティ官民連携プラットフォーム	オブザーバー
スーパーシティ・オープンラボ	会員
環境省ローカル SDGs 地域循環共生圏づくりプラットフォーム	会員
地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム	3号会員
デジタル海外展開プラットフォーム	会員
一般社団法人データ社会推進協議会	特別会員
一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム	賛助会員
一般社団法人 My Data Japan	特別会員
都市 OS 利活用協議会	会員
サイバーセキュリティ協議会	第4期構成員
一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター	賛助会員
ジャパン・サーキュラー・エコノミー・パートナーシップ (J-CEP)	オブザーバー
一般社団法人オルタナティブデータ推進協議会	賛助会員
一般社団法人 JCoMaaS	行政事業者団体等会員
一般社団法人循環経済協会	賛助会員
一般社団法人データサイエンティスト協会	特別会員
一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会	非営利団体等会員
ZETA アライアンス	特別会員
シブヤ・スマートシティ推進機構	賛助会員
デジタル&ファイナンス活用による未来型政策協議会	連携団体
一般社団法人渋谷未来デザイン	賛助会員
一般社団法人渋谷未来デザイン データコンソーシアム	会員
一般社団法人 CiP 協議会	賛助会員
itSMF Japan	特別会員
Japan Innovation Bridge (J-Bridge) パートナー制度	パートナー
東京商工会議所	会員
全国 Town & Gown 構想推進協議会	支援会員
一般社団法人ドローンサービス推進協議会	会員
東京データプラットフォーム	法人会員
日西経済委員会	法人会員
インパクトコンソーシアム	法人会員
一般社団法人 PHR 普及推進協議会	特別会員
一般社団法人 Govtech 協会	賛助会員

以上